

<地域連携部会>

【児童生徒の実態】

・地域のボランティア団体や公民館、小中学校が連携を図りながら活動を行うための体制を整備することができている。児童生徒は、小中学生と一緒に活動を行う機会を楽しみにしており、地域の方との交流にも、意欲的に取り組んでいる。

【部会のねらい】

・地域学校協働活動を中学校区に広げ、小中一貫教育と関連させながら、目指す児童・生徒像の実現に迫る。昨年度までの活動内容を継続し内容を充実させ、児童・生徒が活動に進んで取り組むことができるようにする。

視点	<A> 教育課程の 工夫改善	 教育活動の 連続性の確保	<C> 教職員間の 連続・協働	<D> 家庭・地域との 連携・協力
----	----------------------	------------------------	-----------------------	-------------------------

取組	<ul style="list-style-type: none"> ・中学生による読み聞かせ(国分寺小、国分寺中の図書館の本から選定。9月・10月実施を目標。) ・作品交流(①公民館展示 ②各校での交流作品展示)
成果	<ul style="list-style-type: none"> ・作品交流を夏休み期間中に実施したので、家族で見に行くことができたことがよかった。また、これまでは中学生が展示をしていたが、今年は、小中学校の先生で展示をしたことで効率よく展示ができ、夏休みの展示からの学校展示がスムーズにいった ・作品展示の場所を1階ロビーにしたことで、他の用事で訪れた地域の人にも見てもらったのがよかった。 ・読み聞かせの後に、全クラスで交流することができた。また、事前に質問内容を中学生に知らせておいたため、当日慌てることなく落ち着いて質問に答えることができていた。 ・作品交流をし、中学生へのあこがれの気持ちをもったり、他校への興味をもつことができた。
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・作品展示の際に、展示の案内(内容や期間等)があると、通りすがりに見ていく人にも分かりやすい。

【活動の様子】

作品展示



読み聞かせ

